

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	名都借跨線橋道路拡幅改良事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路建設課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	小野 満寿夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民・児童	意図	拡幅改良により、普通自動車の相互通行及び、緊急時の大型車の通行や歩行者の安心安全を確保する。
事業内容	旧たけのこルーム前交差点から国道6号線までの延長325mについて、緊急時の大型車の通行や歩行者、自転車の安全な通行を確保するため平成24年度より整備を進めている。			
事業開始から現在までの状況変化	平成24年度は、千葉県公安委員会、JR東日本、国道事務所と協議を実施し、平成25年度には、橋梁等の詳細設計を行った。平成26年度から用地取得に向けての不動産鑑定、物件調査及び用地交渉を進め、平成30年度までに全ての用地取得が完了した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	整備率	28.30	37.20	50.20	%	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

平成30年度までに、事業区域内の全地権者34名から用地を取得した。現在、JR常磐線の跨線橋本体工事施工に向けて、JR東日本と協定内容を協議中である。

また、平成29年度から一部工事に着手しており、平成30年度に本体工事の支障となるJR東日本所有の変電所門扉、電気設備の移設が完了し、本体工事に関連する向小金2丁目側の側道整備工事1件（L=129m W=4m）及び向小金1丁目側の側道整備工事1件（L=93m W=4m）が完成した。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	291,187,829	293,173,336	314,241,975
事業費(b)(円)	280,890,329	283,105,336	304,353,975
うち一般財源	59,418,379	134,182,586	140,297,975
職員給与と費(c)(円)	10,297,500	10,068,000	9,888,000
人役・職員(人)	1.50	1.50	1.50
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	未買収用地取得に向け交渉を進める。また、一部側道整備工事とJR東日本による施設の移設工事に着手する。	③取組における課題(Check)	事業用地を確保したことから、本体工事施工に向け、JR東日本との協定の締結が急がれる。
②H30に実施した取組(Do)	事業用地を全て確保した。本体工事施工に向けて、JR東日本との協定内容の確認を進めた。また、一部側道整備工事が完成した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	本体工事施行委託協定の早急な締結と、全体工程に影響する人道橋製作部材の確保が必要である。